

2022年度 第3四半期 決算概要

2023年2月9日
沖電気工業株式会社

2022年度 3Q累計 決算の概要

- 半導体等部材調達難に伴う生産影響あったものの前年比増収。
- 営業利益は一過性要因を除いた実質ベースでほぼ前年並み。
- 為替影響により営業外為替(人民元建資産評価替)は前年比悪化。
- 構造改革に伴う特別損失は減少。
- 今期業績予想修正により税金等は前年比悪化。

(単位：億円)	22年度 実績	21年度 実績	前年比
売上高	2,566	2,464	+102
営業損益	△48	△1	△47
経常損益	△79	1	△80
(親会社株主に帰属する) 四半期純損益	△116	△62	△54
USD平均レート (円)	136.5	111.1	+25.4
EUR平均レート (円)	140.6	130.6	+10.0

2022年度 3Q累計 セグメント別売上高/営業利益

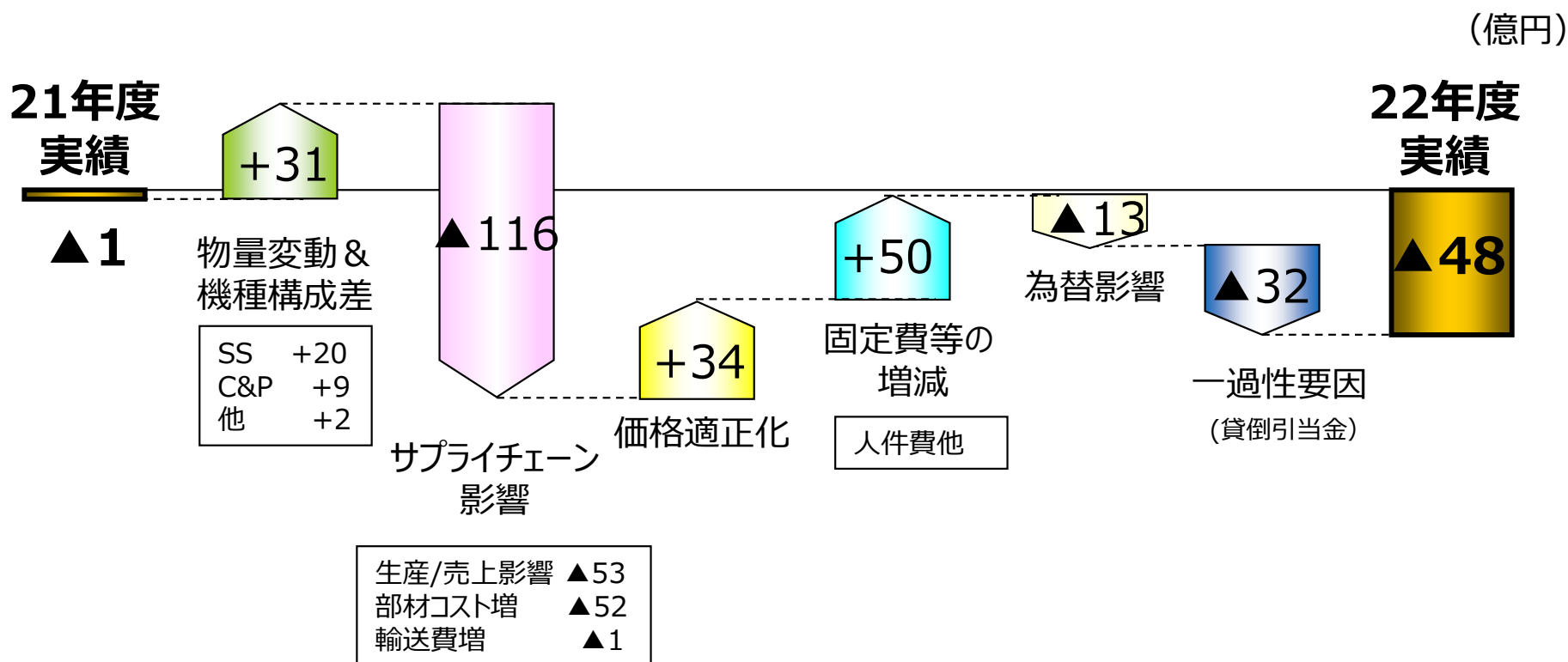
(単位：億円)

売上高	22年度 実績	21年度 実績	前年比
ソリューション システム	1,192	1,076	+116
コンポーネント & プラットフォーム	1,371	1,385	△14
その他	4	3	+1
合計	2,566	2,464	+102

営業利益	22年度 実績	21年度 実績	前年比
ソリューション システム	3	15	△12
コンポーネント & プラットフォーム	△11	34	△45
その他	4	2	+2
消去・本社費	△43	△52	+9
合計	△48	△1	△47

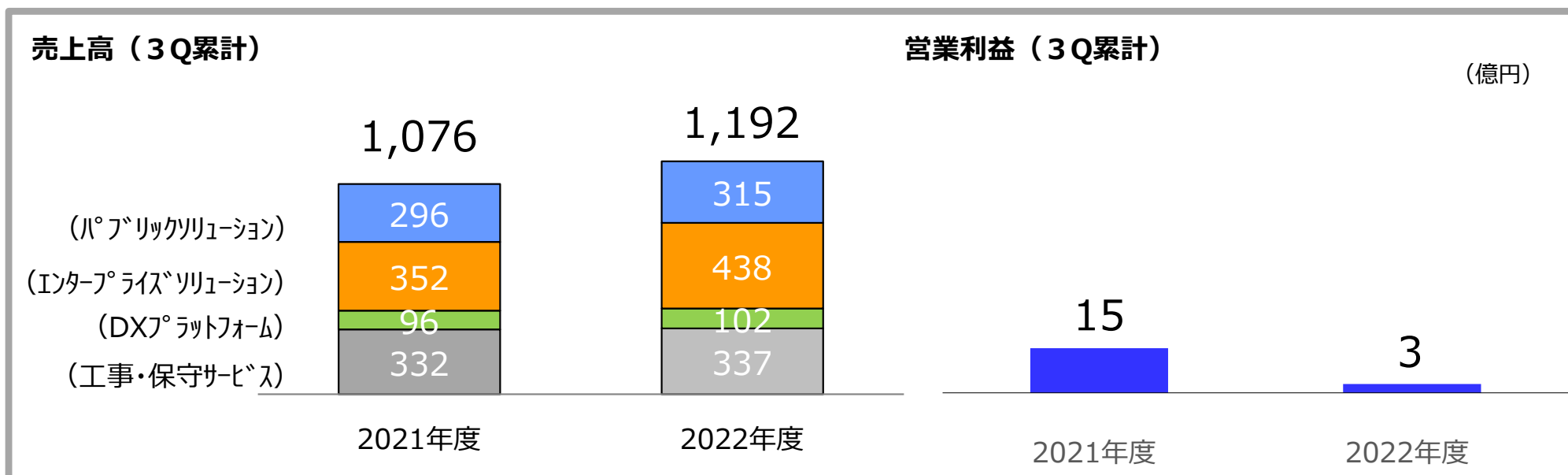
2022年度 3Q累計 営業利益の変動要因

- サプライチェーン影響は3Qも継続。
部材調達難による前年からの期ズレ案件の取り込みや価格適正化は進捗。
設計変更による代替部品対応も進捗。
- 物量増あるものの、ソフト開発案件の失敗コストによるマイナスが発生。
- 構造改革や費用対策により固定費は減少。
- 前年にあった一過性収益による反動減、円安による為替影響はマイナス。



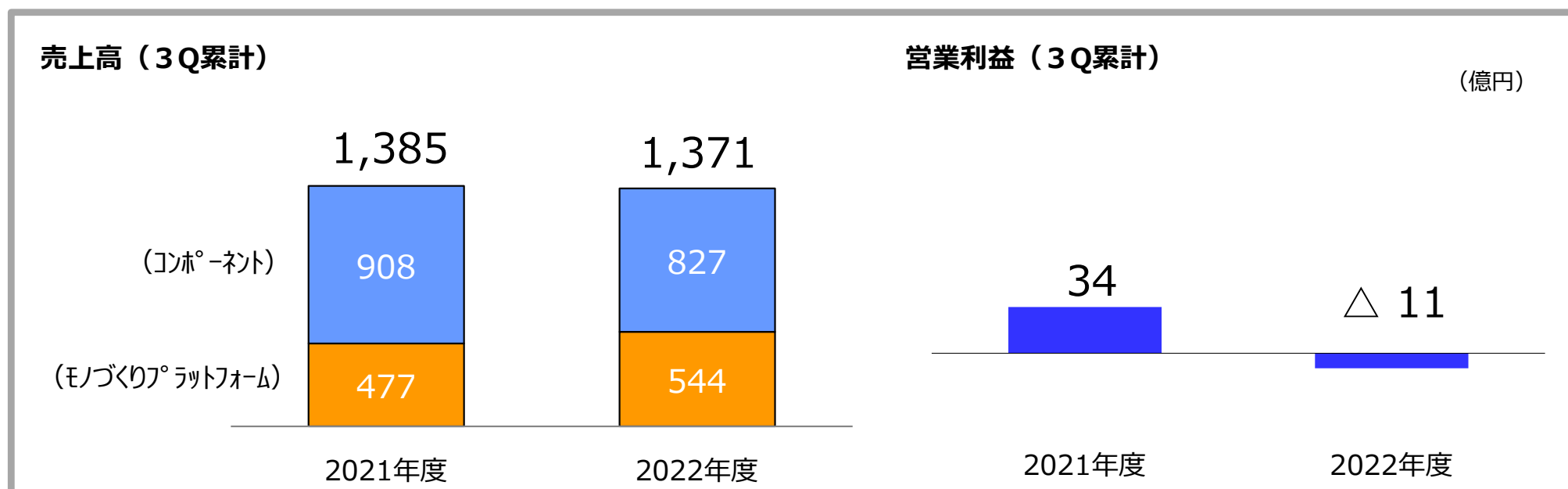
ソリューションシステム事業 概況

- すべての事業領域でほぼ前年比増収。
- 営業利益はエンタープライズでのソフト開発案件の失敗コストや為替によるマイナス影響もあり、前年比減益。
- DX領域の売上は235億円(前年同期 201億円)。



コンポーネント&プラットフォーム事業 概況

- モノづくりプラットフォームはFA／半導体製造装置向け売上の好調が続く。コンポーネントは自動機事業の半導体等部材不足による生産減により減収。情報機器事業の売上は為替影響もあり増収。
- 一過性要因および為替影響を除いて、営業利益ほぼ前年並み。



2022年度 第3四半期 B / Sの概要

- サプライチェーン影響による棚卸増により借入金が増加。
- 自己資本比率は4.7ポイント減少。

(単位：億円)	22年 12月	22年 3月	前年度末比
流動資産	2,225	2,118	+107
固定資産	1,591	1,573	+18
資産の部	3,816	3,692	+124
流動負債	1,972	1,580	+392
固定負債	909	1,036	△127
負債の部	2,882	2,615	+267
自己資本	932	1,074	△142
その他	2	2	±0
純資産	934	1,076	△142
負債及び純資産合計	3,816	3,692	+124
自己資本比率(%)	24.4	29.1	△4.7
DELシオ(倍)	1.3	0.8	+0.5

2022年度 第3四半期 キャッシュフローの概要

- 営業キャッシュフローもサプライチェーン影響による棚卸増により前年比悪化。

(単位：億円)	22年度 実績	21年度 実績	前年比
I 営業キャッシュフロー	△144	△3	△141
II 投資キャッシュフロー	△136	△151	+15
フリー・キャッシュフロー(I + II)	△280	△154	△126
III 財務キャッシュフロー	262	35	+227
現金および現金同等物の残高	328	304	+24
固定資産取得額	122	148	△26
減価償却費	90	94	△4

2022年度 通期業績予想の修正

- 直近の業績動向等を踏まえ、2022年5月11日公表の業績予想を下方修正。
- なお配当予想についても、1株当たり年間20円に修正（期初公表値 30円）。

(単位：億円)		22年度 今回予想	22年度 前回予想	前回比	21年度 実績	前年比
ソリューション システム	売上高	1,830	2,100	△270	1,626	+204
	営業利益	95	140	△45	95	±0
コンポーネント & プラットフォーム	売上高	1,890	2,150	△260	1,890	±0
	営業利益	0	20	△20	35	△35
その他	売上高	0	0	±0	4	△4
	営業利益	0	0	±0	3	△3
消去・本社費	営業利益	△65	△70	+5	△75	+10
連結合計	売上高	3,720	4,250	△530	3,521	+199
	営業利益	30	90	△60	59	△29
	経常利益	5	80	△75	77	△72
	当期純利益	△30	30	△60	21	△51

前提為替レート 4Q 前回
 USD 135円 115円
 EUR 143円 130円

通期業績予想についての説明

■ 事業環境

- ✓ 市場 OKIの主要ビジネス領域の投資は比較的堅調に推移。
(デジタル化、自動機、EMS等)
- ✓ 調達 一部(市場流通品等)で緩やかな改善は見られたものの大枠は不変。
原材料費高騰も継続。
- ✓ 為替 円安で売上は高上げとなるが、営業利益ではマイナス影響。
元安ドル高の影響で営業外費用が大幅悪化(4億→△22億)。

■ OKIの取り組み

優先
課題

サプライチェーン影響等の対策強化



優先課題取組みを踏まえたうえで

「成長への土台作り」の継続推進

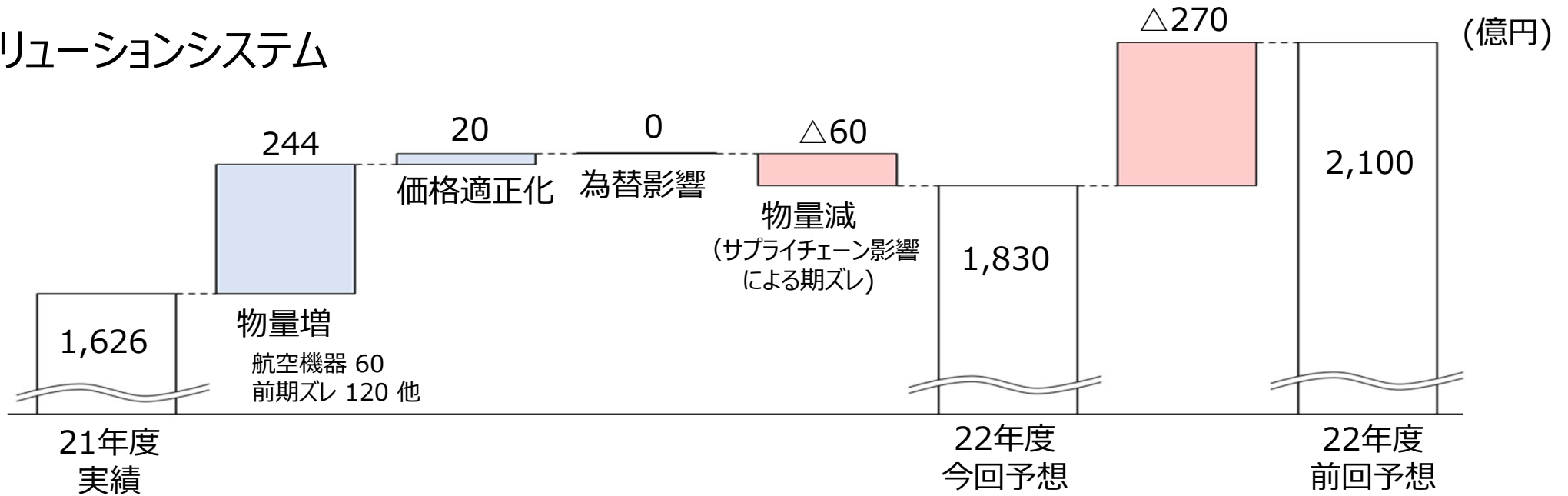
- ・主要半導体部品の確保レベルアップ。
- ・設計変更による代替部材対応に目途。
- ・価格適正化。
- ・「事業力の再構築」を企図し、
23年度組織体制に反映(本日リリース)。

■ 通期決算概要

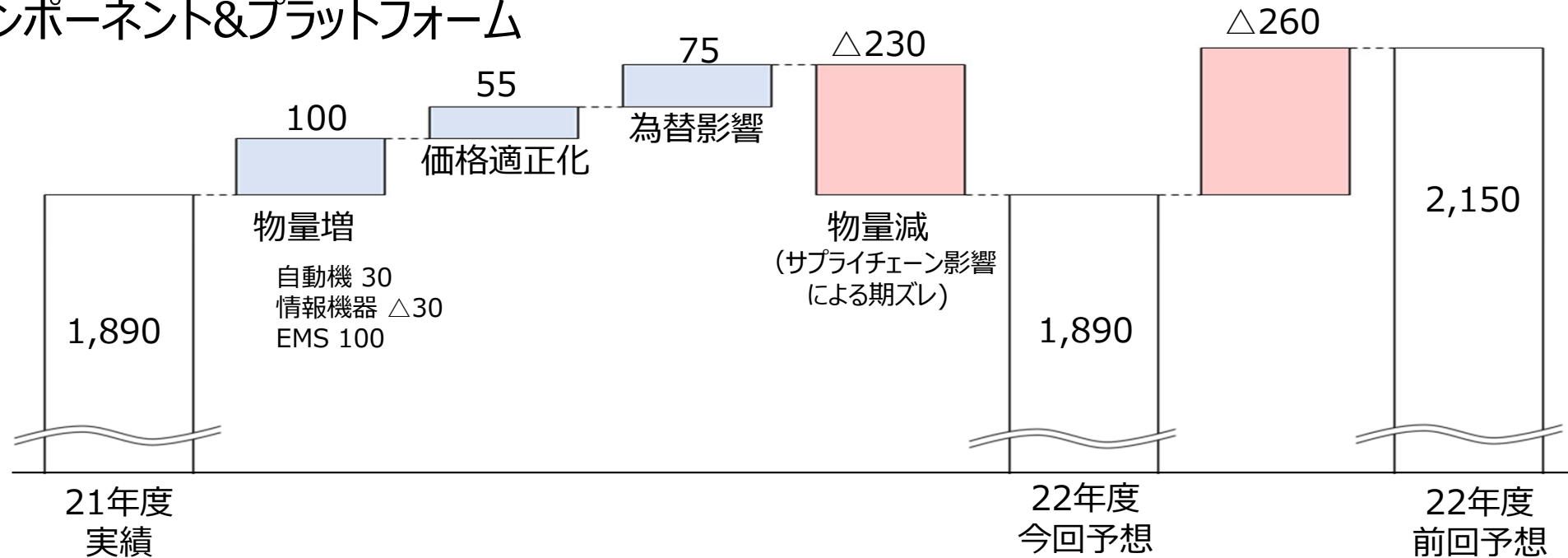
- ✓ 売上は前年比約200億円の増収、前回予想比約530億の減収。
- ✓ 営業利益はサプライチェーン影響、失敗コスト、為替影響により前回予想比減益。
- ✓ 棚卸増も3Q決算がピーク。23年度上期より本格的に売掛→回収となる見込。

通期業績予想 売上高

ソリューションシステム



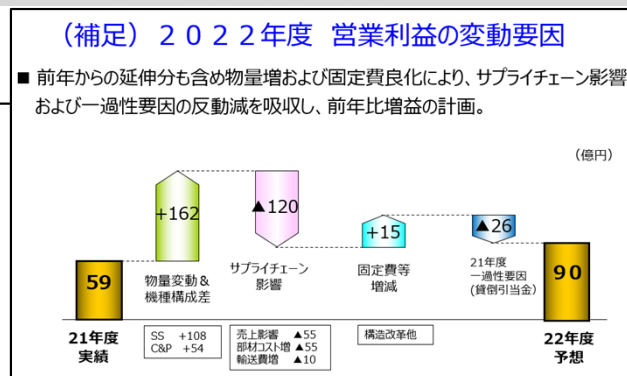
コンポーネント&プラットフォーム



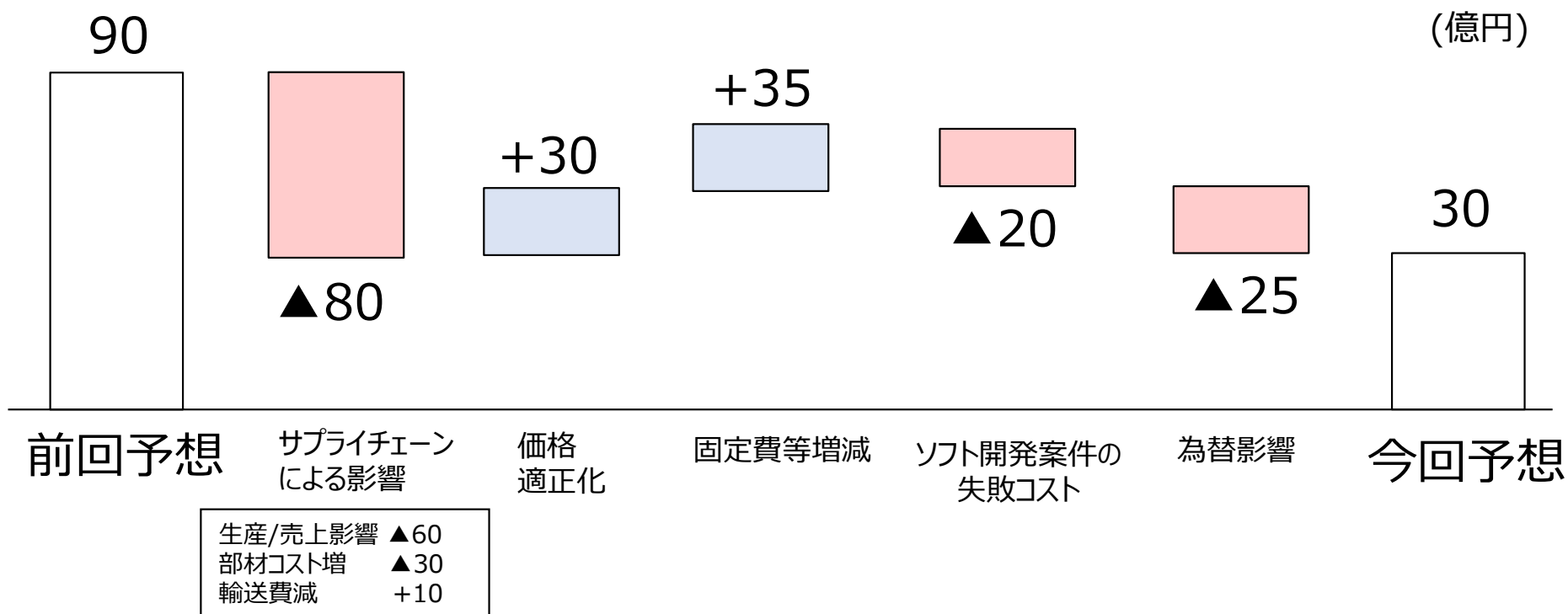
通期業績予想 営業利益

営業利益：前回予想からの主な変化

- ✓ 主要半導体の部品調達難により来期へ販売延伸。
- ✓ 新規ソフト開発案件で失敗コストが発生。
- ✓ 為替変動（円安）によるコスト増発生。

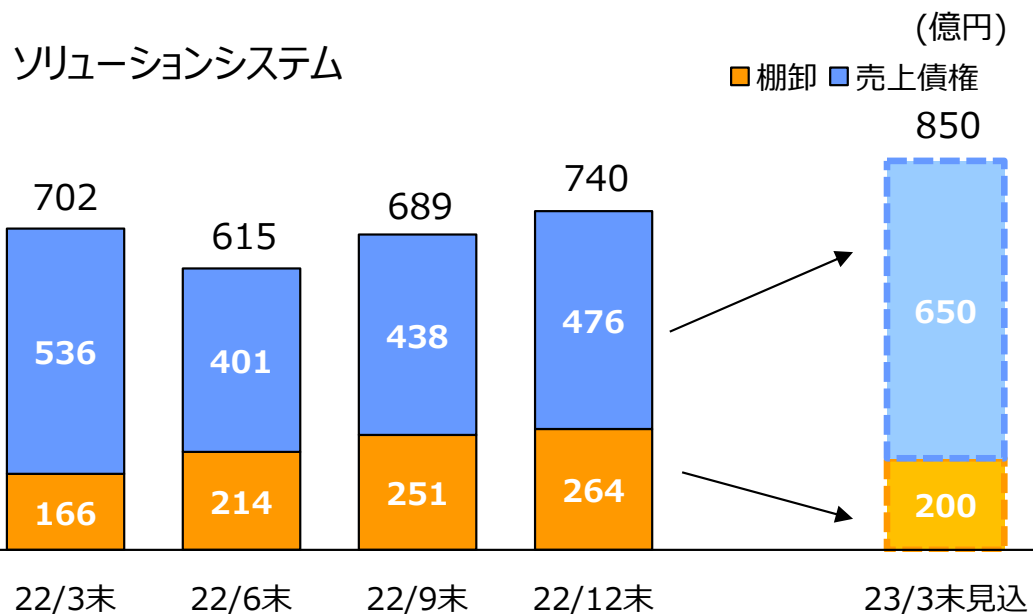


営業利益の変動（対前回予想）

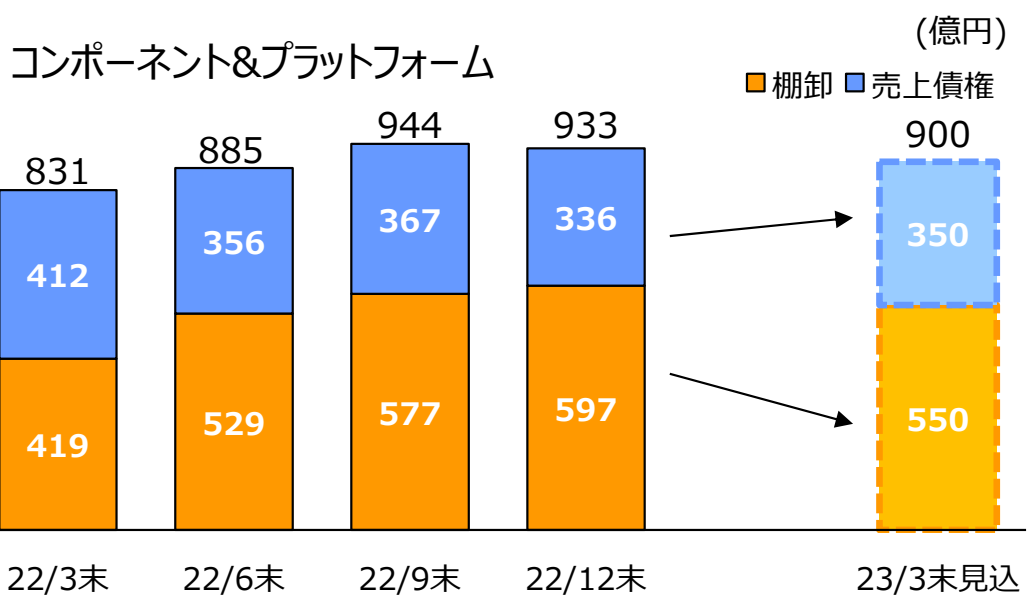


通期業績予想 運転資本-売上債権・棚卸

22年度は運転資本増加するものの、23年度上期改善見通し。



・22年度4Q売上 640億～670億の見込
(前年同期比約90～110億増)、
23年度1Q回収予定



・22年度3Qで棚卸はピークアウト。
23/1Q売上は対前年同期比で約60億増の見込

(補足) セグメント別売上高/営業利益 (四半期別推移)

(単位：億円)

売上高	21年度					22年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q
ソリューションシステム	339	350	387	550	1,626	361	384	447
コンポーネント&プラットフォーム	459	448	478	505	1,890	419	461	491
その他	1	1	1	1	4	1	1	2
合計	799	799	866	1,057	3,521	781	847	938

営業利益	21年度					22年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q
ソリューションシステム	△1	△1	17	80	95	△12	3	12
コンポーネント&プラットフォーム	△15	4	45	1	35	△8	1	△4
その他	1	0	1	1	3	1	1	2
消去・本社費	△14	△17	△21	△23	△75	△11	△15	△17
合計	△29	△13	41	59	59	△30	△10	△8

(補足) 各事業の主な製品およびサービス

ソリューションシステム

■ パブリックソリューション

- 道路（ETC/VICS）、航空管制、防災、消防
- 中央官庁業務システム、政府統計システム
- 防衛システム（水中音響/情報）
- 航空機器
- インフラモニタリング

■ エンタープライズソリューション

- キャリアネットワーク、映像配信、5G・ローカル5G
- 金融営業店システム、事務集中システム
- 鉄道発券システム、空港チェックインシステム
- 製造システム（ERP/IoT）

■ DXプラットフォーム(プロダクト/サービス)

- AIエッジコンピューター、センサー、IoT NW
- PBX、ビジネスホン、コンタクトセンター
- クラウドサービス

■ 工事・保守サービス

コンポーネント&プラットフォーム

■ コンポーネント

- ATM、現金処理機
- 営業店端末、予約発券端末、チェックイン端末
- ATM監視・運用サービス
- LEDプリンター
- 大判インクジェットプリンター
- ドットインパクトプリンター

■ モノづくりプラットフォーム

- 設計・生産受託サービス
- プリント配線基板

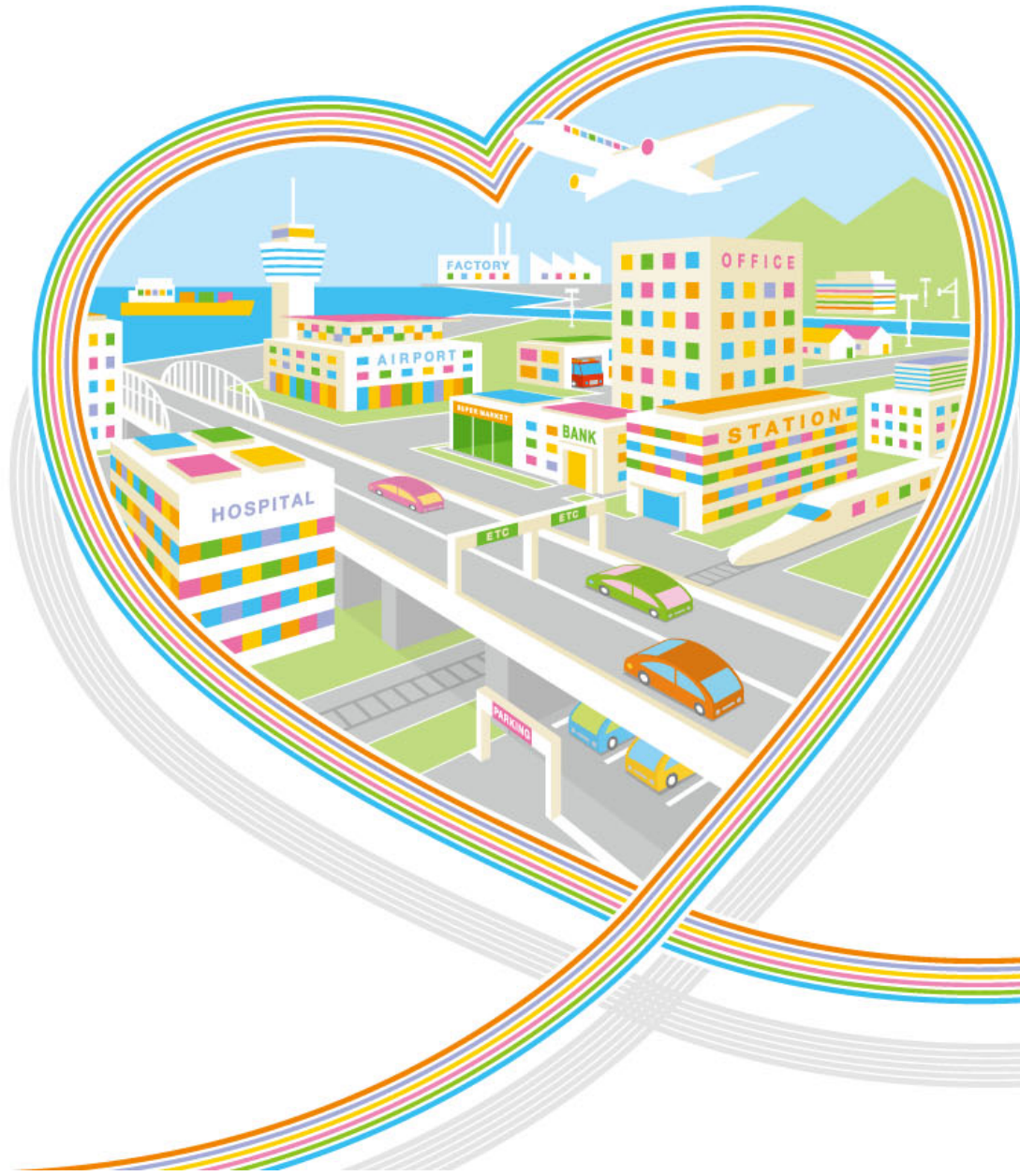
注意事項

※本資料における業績予想および事業計画等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断される一定の前提に基づいております。したがって実際の業績は様々な要因により、これらと異なる可能性があることをご承知おきください。

※億円単位の数値の表示方法について：

各項目の数値は、それぞれの数値の億円未満を四捨五入して表示しています。

また増減については、億円単位の数値を元に計算しています。



Open up your dreams